

Hayakawa Hiroshi

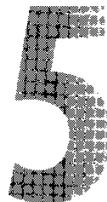
経営コンサルタント。1991年に独立。介護事業に関する独自の調査に基づいたデータ分析を各誌・紙に発表。著書に「介護人材創造塾」(筒井書房)、「介護保険改正に勝つ!経営」(年友企画)、「データで徹底分析 介護事業の最新動向と経営展望」(日本医療企画)、「介護事業の羅針盤」(シルバー新報叢書)など。
http://www.hayakawa-planning.com
ブログ: http://ameblo.jp/hayakawa-planning/

介護マネジメント塾

経営(継承)のツボ

がべいじゅうき 画餅充飢

転期に立つ経営者の資質の考え方④



早川浩士

(有)ハヤカワプランニング代表取締役

「絵に描いた餅で飢えを充たす」

「画餅充飢」は、『三国志』(晋・陳壽著)の「魏書」の故事に由来する。

魏の文帝・曹丕(曹操の次男)が、即位した際、高級官僚を選抜しなければならず、名声の高い2人が選ばれようとしていた。

ところが、文帝自ら一人を抜擢する時は、名声で選ぶのではない。名声は地面に餅の絵を書くのと同じことで、その餅は食べられないものだ!と、この人事案を一蹴した。

2人の高級官僚候補者を退けた故事から、名のみで実がないこと、または空想によって自らを慰めることを「画餅充飢」として用いられるようになった。

これが日本に入って、「画餅」絵に描いた餅」と略して使われるようになり、実際には役に立たないものたとして用いられるが、その意味は2通りある。

1つ目は、絵に描いた餅で飢えを凌ぐこととするように、空想に逃避して現実の苦しみを忘れようとする自己満足のことであり、絵に描いた餅で飢えを充たすという意味の「画餅充飢」。

もう1つは、絵に描いた餅で飢えを充たせないという「画餅不充飢」である。計画や予定が失敗して、骨折りに損に終

わるという意味の「画餅に帰す」という表現の仕方があるが、失敗の轍を踏んでしまうのが人の常でもある。

「問われる『日常茶飯』力」

4月10日、「経済危機対策」に関する政府・与党会議、経済対策閣僚会議合同会議において取りまとめられた「経済危機対策」のうち、「介護分野における経済危機対策について」が取りまとめられた。前後して、厚労省は7日、新経済対策として、介護職員の賃金を1人(常勤換算)当たり月額1万5000円引き上げるため、事業者には人件費として3年間で総額4000億円を交付する方針を固めた。

「介護職員処遇改善交付金(仮称)」は、申請を受けて事業者に支給する。

自治体の準備が必要なため、10月実施の予定という交付金を受けるには、①職員の賃金アップのための処遇改善計画を作成し、職員に示す。②10年度以降は、キャリアアップの研修計画を加えるなどの条件が必要であるという。

これからの10年、ゴールドプラン時代から第一線で活躍してきた中高年層が定年などから現場を去っていくのは、介護業界の資源損失といわざるを得ない。その多くは、「日常茶飯」という家庭の

暮らし方を経験してきた主婦層である。『日常茶飯』は、毎日の食事という意味がある。転じて、日常的なごくありふれた事柄のことをいう。

これまで、当局の定めた日常生活上の世話として調理、洗濯、掃除等の家事を土台に、入浴、排せつ、食事等に必要な介護技術を積み重ねればよかったのは、わが家の『日常茶飯』に力を注いできた主婦の経験があればこそ、である。

昨今、入浴後のお風呂掃除、トイレ掃除、調理など食事の準備や後片づけ、洗濯など、どれ1つをとっても自宅で手伝った経験が乏しいという若手介護職も珍しくないことから、暮らし方の研修に力を入れる事業者が増えてきた。

柔軟剤や漂白剤などの使い方を誤った洗濯の仕方をして、ひと騒動を引き起こしたというところも少なくない。

介護方向上のための爪先立ち研修を練り上げる前に、暮らしを支えるために必要とされる『日常茶飯』力の点検と再確認は、焦眉の急である。

リーダー自らが『日常茶飯』力を損ねようとしたら、その人の暮らしを支えるという言葉が、「絵に描いた餅」ともなりかねない。

「身修まって后に家斉う。家斉いて后に国治まる(大学)」である*。

* 本誌2007年11月号本欄参照